

令和2年度ICTイノベーションセミナーin東海を開催

総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹)は、令和3年2月10日(水)、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰 名古屋工業大学名誉教授)との共催により、「令和2年度ICTイノベーションセミナーin東海」を開催しました。本セミナーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、Zoomウェビナーによるオンラインでの開催となりましたが、大学、民間企業を中心に36名が参加しました。

はじめに、総務省国際戦略局技術政策課の加藤彰浩課長補佐から、「総務省におけるICT分野のイノベーション創出に向けた取組」と題して、総務省施策について紹介しました。

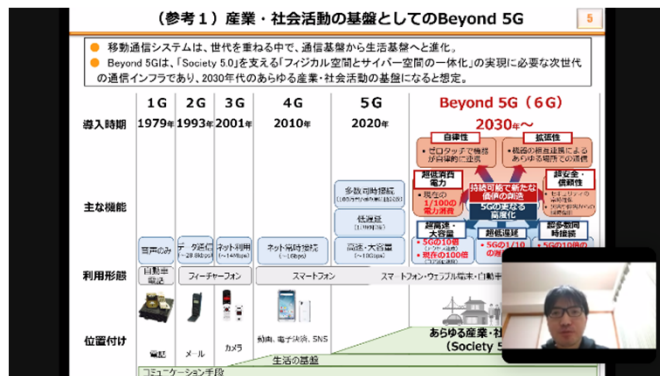
次に、令和元年度で終了した4件のSCOPE研究課題の成果について、以下の研究代表者4名からそれぞれ研究開発のポイントや研究成果の社会展開の方向性等について発表していただきました。

< 令和元年度SCOPE成果発表 >

- ① 愛知県森林・林業技術センター 主任研究員 石田 朗 氏
研究課題…里山地域におけるソーシャルICT基盤を利活用したニホンジカ被害対策手法の構築
- ② 静岡大学大学院工学領域 教授 石原 進 氏
研究課題…浮流型移動カメラと無線LAN映像伝送による省力化下水管検査技術の研究開発
- ③ 豊橋技術科学大学大学院工学研究科 准教授 田村 昌也 氏
研究課題…新たな周波数割り当てを必要としないキャビティ共振モードワイヤレス電力伝送技術の開発
- ④ 名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授 橋本 佳 氏
研究課題…声の個人性が保持された音声翻訳を実現するための大規模音声データと深層学習に基づく多言語音声合成技術に関する研究開発

最後に、NICTソーシャルイノベーションユニット戦略的プログラムオフィスの吉田一志氏が、NICTにおける研究開発支援施策として、大学や研究機関との地域連携の事例及び総合テストベッドの利活用についてご紹介いただきました。

東海総合通信局では、今後とも東海地域における各研究機関との関係構築に向けた取り組みを強化することにより、ICT・IoT分野における研究開発の裾野を広げてまいります。



総務省施策の紹介

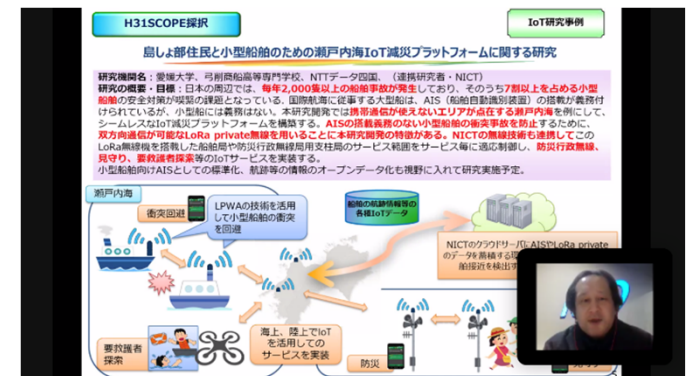
声の個人性が保持された音声翻訳を実現するための大規模音声データと深層学習に基づく多言語音声合成技術に関する研究開発 (162106106)

若手ICT研究者等育成型研究開発 (若手研究者枠)

2017年2月~2020年3月

橋本 佳 (名古屋工業大学)

令和元年度SCOPEの成果発表



NICTによる事例紹介